

平成28年度 堺市保健所運営協議会会議録

開催日時：平成28年10月5日（水）午後2時から午後4時

場 所：堺市役所本館6階会議室

出席委員：芝田 一 委員長、岡原 和弘 副委員長、泉谷 泰弘 委員、
上野 栄太郎 委員、大町 むら子 委員、木村 正明 委員、
黒瀬 大 委員、河野 譲二 委員、杉林 克廣 委員、下村 進 委員、
田中 一弘 委員、田内 潤 委員、西川 良平 委員、福井 宏尚 委員、
豆野 陽一 委員、宮奥 善恵 委員、森田 敏治 委員、八木 潤子 委員

欠席委員：枝元 委子 委員、鈴木 克洋 委員、高橋 万喜子 委員、
安井 誠剛 委員、山中 京子 委員

傍 聴 者：1名

案 件：1. 堺市保健所運営協議会副委員長の選出について
2. 平成27年度事業実績について
3. 平成28年度事業について

（事務局）

只今より、平成28年度堺市保健所運営協議会を開催いたします。

皆様方におかれましては、お忙しい中、お集まりいただきまして有難うございます。

本日の進行をさせていただきます堺市保健所保健医療課の古谷でございます。

よろしくお願ひいたします。なお、本協議会は公開となっておりますので、よろしくお願ひします。それでは開催にあたり、保健所長の山崎より挨拶を申し上げます。

（所長）

—所長挨拶—

（事務局）

続きますので、委員の皆さま方をご紹介いたします。

—委員紹介—

引き続き本日、出席しております本市職員を紹介させていただきます。

—職員紹介—

案件に入る前に資料の確認をさせていただきます。

—資料確認—

それでは議事進行に入りたいと思いますので、芝田委員長よろしくお願ひします。

(芝田委員長)

それでは、案件（１）の「副委員長の選出について」を議題といたします。

村田前副委員長が退任されたことに伴うものですが、副委員長の選出につきましては、本協議会条例第５条により、委員の互選によるとなっております。

委員の皆様のご意見をお伺いいたしたいと思いますが、いかがでしょうか。挙手を願います。

(上野委員)

岡原委員を副委員長に推薦したいと思いますが、いかがでしょうか。

(芝田委員長)

ただいま、上野委員より岡原委員を副委員長にとのご意見がございましたが、いかがでしょうか。ご異議ございませんか。

(各委員)

異議なし

(芝田委員長)

ご異議ないようですので、副委員長に岡原委員を選出することといたします。

ご協力ありがとうございました。岡原副委員長につきましては席の移動をお願いいたします。

(委員長)

それでは、案件（２）「平成２７年度事業実績について」を議題といたします。

本件について、事務局から報告をお願いします。

(保健所次長)

保健所次長の河盛でございます。よろしくお願いたします。

それでは、平成２７年度に堺市保健所において取り組みました事業の実績につきましてご報告をさせていただきます。

—資料（資料１ 平成２７年度事業実績）に基づき説明—

(委員長)

報告が終わりました。本件についてご質問・ご意見はございませんか。

(田中委員)

２ページの医療相談についてですが、相談員については専門家で対応されていると

と思いますが、常勤で対応されているのか、決まった日に対応されているのか、また、来所される方は予約をされているのかについてお伺いします。

（保健医療課長）

専門の看護師を非常勤で2名配置し、それぞれ空きがないような勤務体制をとって対応しております。医療法に関わる業務を担当する職員が法律的なことも含めた相談対応を行っております。また、予約される場合もありますが、ほとんどが予約なしでの電話相談と予約なしでの来所となっております。

（田内委員）

23ページのエイズのHIV抗体検査についてですが、陽性者の件数は非公開でしょうか。

（感染症対策課長）

平成27年の陽性者数ですが、保健所・保健センターでの検査で2件、市内医療機関から届出があったもの3件の合計5件でございます。

但し、市内医療機関からの届出件数ですので、市民かどうかについては分からないということにつきましてはご了承願います。

（田中委員）

2ページの医療従事者の免許関係申請状況について、歯科衛生士について記載はありませんが、対象外なのでしょうか。

（保健医療課長補佐）

歯科衛生士の免許関係の申請対応につきましては、市ではなく、歯科医療振興財団が行っているためでございます。

（芝田委員長）

次に、案件（3）「平成28年度の事業について」を議題と致します。本件について、事務局から説明をお願いします。

（保健所次長）

平成28年度に取り組む事業につきまして各所管からご説明させていただきます。

—各所管より資料（資料2 平成28年度事業計画）に基づき説明—

（芝田委員長）

事務局から事業計画についての説明が終わりました。本件について、ご質問・ご意見はございませんか。

(大町委員)

30 ページのシンナー・覚醒剤等乱用防止啓発事業について、今、社会的に問題になっている犯罪との関わりもありますが、学校での取り組みについてもう少し詳しく説明いただけませんか。

(環境薬務課主幹)

27年度の実績を報告いたします。小学校、中学校、高等学校に対し、小学校向け冊子、中学校向け冊子、危険ドラッグちらし、リーフレット等を次のとおり提供、貸出したしました。

(提供)

	リーフレット		小学生向け冊子		中学生向け冊子		危険ドラッグちらし	
小学校	13校	923部	27校	2989部	1校	5部	10校	787部
中学校	1校	35部	2校	470部	1校	230部	2校	265部
高等学校	2校	985部	0校	0部	1校	735部	2校	985部

(貸出)

	啓発DVD	啓発パネル	薬物標本
小学校	6校	0校	3校
中学校	3校	1校	2校
高等学校	2校	1校	0校

(大町委員)

たくさん取り組んでられますが、まだまだ足りていないと思います。さらに各学校での取り組みを充実してほしいと思います。

(西川委員)

11ページの子宮頸がん予防については、昨今、副作用に関し、諸外国では不妊などいろいろな意見があります。厚生労働省の指針や法律に基づいて実施していると思いますが、必要な情報提供や注意すべき内容等も今後別の機会に詳しくお伺いしたい。

先般議会でも議論されました北部整備事務所におけるアスベストの問題、堺区におけるメッキ工場跡地の6価クロムの問題や東京豊洲における土壌汚染の問題などセンセーショナルに報じられているが、保健所としては、専門的知見に基づき、正しい情報発信をして、事実に基づかない不安を増幅することがないようにお願いします。

スズメバチの報告はいただきましたが、堺市ではアライグマの発生や駆除についてはあまりないのでしょうか。

(生活衛生センター所長)

アライグマについては、所管である環境共生課が捕獲籠の貸出し等の対応を行って

います。スズミバチについては、民有地で発生したものは駆除しておりませんが、公共地で巣が発見された場合は、関係所管と連携しながら必要な対応しております。

(宮奥委員)

二つ質問させていただきます。一つは関西空港で麻疹が発生した際、ワクチンが様々なところで必要とされて、少なくなっていると伺ったことがありますが、影響があるのか、もしそうであるなら対応策をお伺いしたい。もう一つは駅や木などに鳥の大群が発生して、糞の害があると聞いたことがあるが、対策などについてお伺いしたい。

(感染症対策課長)

まず、麻疹のワクチンですが、市内医療機関等からワクチン確保について、保健所や保健センターにいただいている連絡によると、確かに不足気味ではあります。ただ、国の見解では、全国的には不足しておらず、一時的に一部の地域で少なくなるなど地域偏在がある状態と聞いている。現在、府を通じて、国に対してワクチンについて都道府県の偏在をなくすよう調整することを要望するとともに、製薬会社に対しても安定供給について強く働きかけをしているところです。

(生活衛生センター)

鳥については、保健所の所管外ではありますが、大量に発生しているのはムクドリではないかと思えます。堺東にも夕方になるとこれから大量に飛来してまいります。

また、生態系に影響を及ぼすものとして、監視対象となっているものにカワウが生息しており、枯木被害が確認報告されています。これらについては環境共生課が情報共有しながら効果的な対応に努めているところですので、よろしく申し上げます。

(八木委員)

質問とお願いがあります。感染症対策です。13ページの性感染症予防事業についてです。婚姻・妊娠にかかる梅毒血清反応検査を無料で各保健センターで実施しているとのことですが、昨年頃から大阪でも梅毒が急増してきており、堺でも確認されています。ここ数年前までは梅毒はほとんどなかったため、産婦人科の医師でも古い医師でないと診たことはないので診断が難しいところがあります。急増しているのも、特に妊産婦については、先天性梅毒が再度日本で出現しているため、妊婦健診の間に2回くらい梅毒検査はしたいと考えています。初期の妊婦健診には含まれているが、後期にはないため、必要があれば、後期の妊婦健診に利用させていただきたい。妊娠後期に無料でさせていただけませんか。それと性感染症に関してはコンジロームが増えているので、ひとつの性感染症にかかると他の感染症が3～4倍うつりやすくなります。こういう環境ですと一人で3つも4つも性感染があるということもありうることで、梅毒検査、コンジローム検査は妊娠に関わるということではなく、エイズ予

防事業の性感染症予防対策として位置付けていただけたらと思います。

(感染症対策課長)

大阪だけでなく、東京でも梅毒が5～15倍増えていると認識している。ただ、堺の実績を見ますと、大阪や東京ほどは増加していないと現在は認識していますが、近隣であることをふまえますと今後増加することも懸念されますので、スケジュールや可能性など検討させていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

(岡原委員)

覚醒剤やシンナー対策についてのお話はありましたが、タバコ対策について保健所としてはどのようにお考えでしょうか。

(保健所長)

たばこ対策については、健康部が主に担っているところです。

(岡原委員)

現在、堺市における保健医療福祉の大きな問題として、健康寿命の延伸、がん検診受診率の向上、2025年に向けた地域包括ケアシステムの構築がある。

これらについても行政の縦割りがあるかもしれないですが、私は地域包括ケアの推進に関わっていますが、地域包括ケアシステム構築に向けて厚生労働省も保健所の役割について語っていますし、全国保健所長会議においても保健所が積極的に関わるべきとの見解を出しているが、堺市ではいかがでしょうか。

(保健所長)

都道府県型の保健所を中心に言われることが多いと思います。市型や政令市型では、行政の部局の下に設置していることが多いこともあり、都道府県型のように独立して様々な業務に取り組むことが難しい状況がある。堺市では主に許認可業務に特化しており、結核対策やエイズ、HIV、公害関係など一部の分野で対人サービスを実施している状況です。行政システムから解決しなければならないこともあるのではないかと考えております。

(岡原委員)

以前から思っていたのですが、今こういうことが必要になってきていると思いますので、是非とも何らかの形で、保健センター等として、地域包括ケアに関わってほしいと考えています。

(河野委員)

実績報告の15ページでは、27年度の指定難病の受給者証交付数が7240件と

報告されているが、この件数について発症率からして申請件数や認定件数が妥当な数であるかが重要だと思えます。例えばこの7240件が想定より少ない場合は、本来は難病患者であるのに、医療機関に受診した際に難病として申請が出されていないことなどが考えられます。

私は大阪府で難病の審査をしています。医療機関によって申請が多いところと少ないところがある。医師が協力的かどうかによって、患者が不利益を受けることもある。したがって件数を明らかにすることも大事であるが、人口割合や同規模の自治体との比較等して適正な数かどうかを検証していく必要があります。指定難病については認定できる医師も決まっているので、医師への啓発や市民への情報提供が必要であると思えます。来年度は適正さを判断するデータの提供もあればいいのではないかと思います。

(保健医療課長)

指定難病については、現在は、経由事務ということで深い関わりをしておりませんが、今後は30年度より認定も含めて行うこととなりますので、必要なデータの収集や検証も含めて取り組んでまいりたいと考えております。

(豆野委員)

2点あります。まず1点目は、最近レントゲンを入れ替えることがありまして、保健所に届を出し、立ち入り検査を受けることがありました。その際、レントゲンの設置確認と併せてガラスバッチの装着についても確認がありましたが、そもそもガラスバッチについて知らない医療機関もあると検査担当の方が仰っていた。医療スタッフを被爆から守るため装着が法律で決まっているが、実感としては診療所には普及していないと思えますので、医療機関に対して積極的に啓発をしていただきたい。もう一つは事業実績の3ページに記載している医療相談について、87.6%の方が納得されているとのことですが、納得されていない12.4%の方について、どのような転帰をたどられたかなど差し支えなければ教えていただきたいのですが。

(保健医療課長)

相談内容のミスマッチがあることもあります。例えば、医療相談の中身が医療の過誤の判定を求められることがあります。そもそも市として判定できないことに納得いただけない場合もあります。また、こちらの対応や説明が十分でない場合には、真摯に反省し、より適切な対応や丁寧な説明ができるよう努めており、納得いただけない件数は低く押さえたいと考えています。

(芝田委員長)

終了時刻が迫ってまいりましたので、次の質問を最後としたいと思えますが、いかがでしょうか。

(下村委員)

アルゼンチンアリはどのようなアリか教えていただきたい。人畜無害ですか。

(生活衛生センター所長)

特定外来生物法に基づく特定外来生物として指定されているものであり、日本の生態系を崩す危険性があります。人的被害は、堺市内ではありませんが、人を噛むという事例も報告されています。ただし毒性はありません。堺市内では台所に集団で入り込み捕食して巣に持ち帰るといった事例がありました。環境共生課と連携して、生態生息調査に重きを置きながら、一部駆除対応などの取り組みをしておりますが、ご心配していただいているような被害の報告はございません。

(芝田委員長)

貴重なご提案やご意見をいただきありがとうございました。

事務局からそのほかの案件はありませんか。

(事務局)

事務局としてはございません。

(芝田委員長)

では、ほかにご質問・ご意見はございませんか。

ないようですので、以上をもちまして、会議を終了いたします。各委員の方々には、長時間、ご討議ご協力、ありがとうございました。

事務局にお返しします。

(事務局)

長時間にわたりご審議いただきまして、ありがとうございました。

これで平成28年度堺市保健所運営協議会を終了させていただきます。